

サーバー設定仕様書自動生成サービス 「SSD-assistance」SaaS版 導入企画書テンプレート

セイ・テクノロジーズ株式会社

2022年11月

本資料について

本資料は、サーバー設定仕様書自動生成サービス「SSD-assistance」のご導入にむけて、上長へのご報告や稟議書の添付書類としてご利用いただける、導入企画書のテンプレートです。また、自由に編集、加工可能なPPTXファイルをご用意しています。

【テンプレート内訳】

- P2.本資料について ※本ページ※
- P3.パラメータシート作成自動化による業務効率化について
- P4.設定仕様書作成自動化による業務効率化について
- P5.PPTXファイル版について

【テンプレートごとの相違点】

1.「パラメータシート(P3)」と「設定仕様書(P4)」の相違点

内容的に相違点はありません。
ドキュメントを意味する言葉として、「パラメータシート」と「設定仕様書」の2パターンをご用意していますので、使いやすいテンプレートをご利用ください。

【PPTXファイル版について】

自由に編集、加工可能なPPTXファイルをご用意しています。ご希望の方は、以下のフォームよりダウンロードください。

◆ [SSD-assistance 導入企画書テンプレート \(PPTXファイル版\)ダウンロードお申込みフォーム](#)

パラメータシート作成自動化による業務効率化について

課題

業務シーン毎におけるパラメータシート作成/更新に伴う課題

【システム納品時における課題】

- ◆ お客様へ提出するパラメータシート作成に時間がかかるため、他の業務に影響したり、残業が続いたりしている
- ◆ 既存のパラメータシートはSE個々の裁量によりフォーマットがバラバラなため、品質が保てていない

【システム運用保守における課題】

- ◆ パラメータシートの更新が滞っており、実際の設定と異なるため、トラブルや保守対応時に現状把握に時間がかかっている

【リプレースにおける課題】

- ◆ パラメータシートの更新が滞っており、実際の設定と異なるため、手作業で確認している
- ◆ 他社が構築したシステムでは、設定がわからないため、手作業で確認している

目的

パラメータシートの作成/更新を自動化することにより課題を解決

【システム納品時】

- ◆ パラメータシート作成にかかるコスト削減
- ◆ 自動生成されるため、フォーマットが統一され、パラメータシートにおける品質を担保

【システム運用保守】

- ◆ パラメータシートに最新の設定が記載されているので、現状把握の時間を短縮

【リプレース】

- ◆ 現在の設定情報を簡単にパラメータシート化することで調査時間を短縮

施策

パラメータシート自動生成サービス(SSD-assistance)の導入

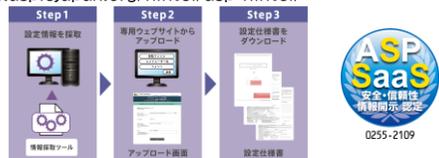
サービス概要

- ◆ サービス名 : SSD-assistance SaaS版
- ◆ サービス紹介ページ : <https://www.say-tech.co.jp/product/ssda>
- ◆ サービス提供事業者 : セイ・テクノロジー株式会社
- ◆ サービス概要 : パラメータシートを3ステップで自動生成するサービス
- ◆ 品質 : SAJ (一般財団法人ソフトウェア協会) によるソフトウェア品質認証『PSQ-Lite』認証
- ◆ 受賞歴 : <https://www.saj.or.jp/activity/project/psq/PSQ.Lite/index.html>
第16回『ASPIC IoT・AI・クラウドアワード 2022』
支援業務系ASP・SaaS部門 準グランプリ
- ◆ 導入事例/サンプル : <https://www.aspicjapan.org/event/award/16/index.html>
<https://www.say-tech.co.jp/ssda-sample>



セキュリティ関連

- ◆ サービス利用時におけるセキュリティ
- ◆ Step1: 採取情報は暗号化され、利用者を含め第三者も判読不可。生成時に、復号化されるのみ。
- ◆ Step2: 暗号化された採取情報をアップロードする際は、HTTPSを利用し、通信も暗号化。
- ◆ Step3: ダウンロードサイトへのアクセスとダウンロードしたファイル閲覧時にパスワードが必要。
- ◆ 「安全・信頼性の情報開示基準を満たしているサービス」に認定
- ◆ ASPICが推進する「安全・信頼性の情報開示基準を満たしているサービス」に認定。
- ◆ <https://www.aspicjapan.org/nintei/asp-nintei/>



サービス提供事業者

- ◆ サービス提供事業者 : セイ・テクノロジー株式会社
- ◆ ホームページ : <https://www.say-tech.co.jp/>
- ◆ 設立 : 2001年3月
- ◆ 本社所在地 : 東京都文京区水道1丁目 12-15 白鳥橋三笠ビル 8階
- ◆ 主要役員 : 代表取締役社長 三瓶 千里
- ◆ 資本金 : 9,000万円
- ◆ 従業員数 : 21名 (2021年7月末)
- ◆ 事業内容 : サーバシステムの運用管理ソリューションの提供
- ◆ 自立分散型サーバ監視ソフト『BOM for Windows』の開発・販売
- ◆ 高機能ジョブスケジューラ『Job Director』の開発・販売
- ◆ サーバ設定仕様書自動生成サービス『SSD-assistance』の開発・販売
- ◆ クラウドストレージ活用ツール『CSDMT』の開発・販売
- ◆ その他、運用管理に関するコンサルティング・技術支援・開発
- ◆ 加入団体 : SAJ (一般財団法人ソフトウェア協会)

導入コスト

年間: ●●●●円

- ◆ プラン名 : SSD-Aネームドプラン
 - ◆ 初期費用 : 10,000円 (初年度のみ)
 - ◆ サービス単価 : 7,000円/人
 - ◆ 最小契約数 : 3人
 - ◆ 年間サービス費用 : ●●●●円/年 (内訳: 7,000円/月 × ●●人)
 - ◆ 予算 (20yy年度) : 予算内 予算外
- ※利用者個人に紐づくプランのため、ご登録可能なメールアドレスは個人アドレスに限定

導入効果:コスト面

年間作業時間: ●%減 / 年間コスト: ●%減

- | 【導入前】 | | 【導入後】 | |
|-------------|---------|-------------|-------|
| ◆ SE単価 | : ●円/時間 | ◆ 作成時間 (1部) | : 15分 |
| ◆ 作成時間 (1部) | : ●時間 | ◆ 年間作成時間 | : ●時間 |
| ◆ 年間作成数 | : ●回 | ◆ 削減時間 | : ●時間 |
| ◆ 年間作成時間 | : ●時間 | ◆ 年間作業時間削減率 | : ●% |
| ◆ 年間コスト | : ●円 | ◆ 削減費用 | : ●円 |
| | | ◆ 削減率 | : ●% |

導入効果:運用面

3つの「向上」を実現

- | | |
|----------|-----------------------|
| 1. 生産性 | : 作成/更新時間削減 |
| 2. 品質 | : フォーマット統一や入力ミス撲滅 |
| 3. 顧客満足度 | : 業務シーン毎の生産性/品質向上の結果 |
| ◆ 納品時 | : ミスなく高品質なドキュメントを納品 |
| ◆ 運用保守 | : 障害時の原因究明や復旧までの時間を短縮 |
| ◆ リプレース | : 調査時間の短縮 |

導入後の展望

パラメータシート作成の標準化によるデータ活用

1. 導入による効果測定 : 期待通りの効果があるのか数値を測定
2. 全社導入検討 : 効果測定を元に社内標準化に向けた検討会議を実施
3. 全社導入 : 自動作成したデータを設計/構築/納品/運用保守における業務へ活用

補足事項

契約期間: 20yy年mm月dd日~20yy年mm月dd日 (1年更新)
 購入先: ●●●株式会社

設定仕様書作成自動化による業務効率化について

作成日: 20yy年mm月dd日

課題

業務シーン毎における設定仕様書作成/更新に伴う課題

【システム納品時における課題】

- ◆ お客様へ提出する設定仕様書作成に時間がかかるため、他の業務に影響したり、残業が続いたりしている
- ◆ 既存の設定仕様書はSE個々の裁量によりフォーマットがバラバラなため、品質が保てていない

【システム運用保守における課題】

- ◆ 設定仕様書の更新が遅っており、実際の設定と異なるため、トラブルや保守対応時に現状把握に時間がかかっている

【リプレースにおける課題】

- ◆ 設定仕様書の更新が遅っており、実際の設定と異なるため、手作業で確認している
- ◆ 他社が構築したシステムでは、設定がわからないため、手作業で確認している

目的

設定仕様書の作成/更新を自動化することにより課題を解決

【システム納品時】

- ◆ 設定仕様書作成にかかるコスト削減
- ◆ 自動生成されるため、フォーマットが統一され、設定仕様書における品質を担保

【システム運用保守】

- ◆ 設定仕様書に最新の設定が記載されているので、現状把握の時間を短縮

【リプレース】

- ◆ 現在の設定情報を簡単に設定仕様書化することで調査時間を短縮

施策

設定仕様書自動生成サービス(SSD-assistance)の導入

サービス概要

- ◆ サービス名 : SSD-assistance SaaS版
- ◆ サービス紹介ページ : <https://www.say-tech.co.jp/product/ssda>
- ◆ サービス提供事業者 : セイ・テクノロジー株式会社
- ◆ サービス概要 : 設定仕様書を3ステップで自動生成するサービス
- ◆ 品質 : SAJ (一般財団法人ソフトウェア協会) によるソフトウェア品質認証「PSQ-Lite」認証
- ◆ 受賞歴 : <https://www.saj.or.jp/activity/project/psq/PSQ.Lite/index.html>
第16回「ASPIC IoT・AI・クラウドアワード 2022」
支援業務系ASP・SaaS部門 準グランプリ
- ◆ 導入事例/サンプル : <https://www.aspicjapan.org/event/award/16/index.html>
<https://www.say-tech.co.jp/ssda-sample>



セキュリティ関連

- ◆ サービス利用時におけるセキュリティ
- ◆ Step1: 採取情報は暗号化され、利用者を含め第三者も判読不可。生成時に、復号化されるのみ。
- ◆ Step2: 暗号化された採取情報をアップロードする際は、HTTPSを利用し、通信も暗号化。
- ◆ Step3: ダウンロードサイトへのアクセスとダウンロードしたファイル閲覧時にパスワードが必要。
- ◆ 「安全・信頼性の情報開示基準を満たしているサービス」に認定
- ◆ ASPICが推進する「安全・信頼性の情報開示基準を満たしているサービス」に認定。
- ◆ <https://www.aspicjapan.org/nintei/asp-nintei/>



サービス提供事業者

- ◆ サービス提供事業者 : セイ・テクノロジー株式会社
- ◆ ホームページ : <https://www.say-tech.co.jp/>
- ◆ 設立 : 2001年3月
- ◆ 本社所在地 : 東京都文京区水道1丁目 12-15 白鳥橋三笠ビル 8階
- ◆ 主要役員 : 代表取締役社長 三瓶 千里
- ◆ 資本金 : 9,000万円
- ◆ 従業員数 : 21名 (2021年7月末)
- ◆ 事業内容 : サーバシステムの運用管理ソリューションの提供
- ◆ 自立分散型サーバ監視ソフト『BOM for Windows』の開発・販売
- ◆ 高機能ジョブスケジューラ『Job Director』の開発・販売
- ◆ サーバ設定仕様書自動生成サービス『SSD-assistance』の開発・販売
- ◆ クラウドストレージ活用ツール『CSDMT』の開発・販売
- ◆ その他、運用管理に関するコンサルティング・技術支援・開発
- ◆ 加入団体 : SAJ (一般財団法人ソフトウェア協会)

導入コスト

年間: ●●●●円

- ◆ プラン名 : SSD-Aネームドプラン
 - ◆ 初期費用 : 10,000円 (初年度のみ)
 - ◆ サービス単価 : 7,000円/人
 - ◆ 最小契約数 : 3人
 - ◆ 年間サービス費用 : ●●●●円/年 (内訳: 7,000円/月 × ●●人)
 - ◆ 予算 (20yy年度) : 予算内 予算外
- ※利用者個人に紐づくプランのため、ご登録可能なメールアドレスは個人アドレスに限定

導入効果: コスト面

年間作業時間: ●%減 / 年間コスト: ●%減

- | 【導入前】 | | 【導入後】 | |
|-------------|---------|-------------|-------|
| ◆ SE単価 | : ●円/時間 | ◆ 作成時間 (1部) | : 15分 |
| ◆ 作成時間 (1部) | : ●時間 | ◆ 年間作成時間 | : ●時間 |
| ◆ 年間作成数 | : ●回 | ◆ 削減時間 | : ●時間 |
| ◆ 年間作成時間 | : ●時間 | ◆ 年間作業時間削減率 | : ●% |
| ◆ 年間コスト | : ●円 | ◆ 削減費用 | : ●円 |
| | | ◆ 削減率 | : ●% |

導入効果: 運用面

3つの「向上」を実現

- | | |
|----------|----------------------|
| 1. 生産性 | : 作成/更新時間削減 |
| 2. 品質 | : フォーマット統一や入力ミス撲滅 |
| 3. 顧客満足度 | : 業務シーン毎の生産性/品質向上の結果 |
- ◆ 納品時 : ミスなく高品質なドキュメントを納品
 - ◆ 運用保守 : 障害時の原因究明や復旧までの時間を短縮
 - ◆ リプレース : 調査時間の短縮

導入後の展望

設定仕様書作成の標準化によるデータ活用

1. 導入による効果測定 : 期待通りの効果があるのか数値を測定
2. 全社導入検討 : 効果測定を元に社内標準化に向けた検討会議を実施
3. 全社導入 : 自動作成したデータを設計/構築/納品/運用保守における業務へ活用

補足事項

契約期間: 20yy年mm月dd日~20yy年mm月dd日 (1年更新)
購入先: ●●●株式会社

PPTXファイル版について

自由に編集、加工可能なPPTXファイルをご用意しています。
ご希望の方は、以下のフォームよりダウンロードください。

◆ [SSD-assistance 導入企画書テンプレート \(PPTXファイル版\)ダウンロードお申込みフォーム](#)